

# 岡山大学経済学会大講演会

## アベノミクスで日本人は幸せになれるか

京都大学名誉教授、京都女子大学客員教授

橋木俊詔先生



日時 2014年6月4日(水)

午後4:00-5:40

会場 創立五十周年記念館

略歴：1943年兵庫県に生まれる。1967年小樽商科大学商学部卒業。1969年大阪大学大学院修士課程修了。1973年ジョンス・ホプキンス大学経済学博士(Ph.D)。1977年大阪大学教養部助教授、1979年京都大学経済研究所助教授、1986年教授、2003年同経済学研究科教授、2007年同志社大学経済学部教授。2014年4月より、京都女子大学・同志社大学客員教授。専門は労働経済学。2005年度日本経済学会会長。『査定・昇進・賃金決定』(第8回労働問題リサーチセンター沖永賞受賞：1993年)、『個人貯蓄とライフサイクル』(第37回日経・経済図書文化賞受賞：1994年)、『家計からみる日本経済』(第25回石橋湛山賞受賞：2004年)、および『「幸せ」の経済学』・『「機会不均等」論』・『脱「成長」戦略』(全て2013年)など、多数の著書・論文を執筆されています。橋木先生は、日本における格差問題研究の第一人者のひとりとして知られ、『日本の経済格差』(第39回エコノミスト賞受賞：1998年)において、日本では貧富の格差が増大しており「一億総中流社会」が崩れていることを指摘され、大きな反響を呼びました。また、最近ではアベノミクスに対して批判的な評論を山陽新聞(2013年6月6日朝刊)にご寄稿されるなど、独自の理論に基づき、現代の日本の経済政策のあり方についても積極的に意見を述べておられます。